

## 「京都ならではの歴史博物館機能の検討に係る基礎調査」における他都市の博物館等の調査について

### 1 基礎調査における他都市調査の概要

他の主な政令市における博物館等の規模や機能等の状況のほか、今後の検討を進める上での参考として、他都市における近年の博物館の整備事例について調査を行った。

### 2 参考として取り上げた近年の整備事例

#### (1) 現在地での改修、建替え又は新設事例

施設名	所在地	概要及び特色	完成予定(※1)
浜松市博物館	静岡県 浜松市	<ul style="list-style-type: none"><li>・「既存建物の改修」、「既存建物を解体のうえ建替え」、「収蔵庫棟を新設」など複数の整備案を今後検討予定</li><li>・令和4年に発生した博物館資料紛失を受け、収蔵保管機能の充実やセキュリティ対策強化、電子化の推進などを実施予定</li></ul>	基本構想段階のため未定
名古屋市博物館	愛知県 名古屋市	<ul style="list-style-type: none"><li>・既存建物・設備を全面改修し、展示室を大幅に拡張するとともに収蔵庫面積も拡大</li><li>・ライブラリー、ワークショップ棟を整備(学習支援機能の強化)</li><li>・「デジタル名古屋市博物館」としてウェブサイト上で収蔵品データベースを公開</li></ul>	令和10年4月
京都府立 丹後郷土資料館	京都府 宮津市	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の歴史・文化の探訪と観光の拠点として、地域の様々な人々と文化をつなぎ、交流と創造を育む「ハブ・ミュージアム」を目指す</li><li>・本館を改修するとともに新館を整備</li><li>・地域の歴史資料・文化財の展示に加え、現代アートや食文化など多彩な文化を発信</li></ul>	令和9年秋
福岡市博物館	福岡県 福岡市	<ul style="list-style-type: none"><li>・本館常設展示室を全面刷新するなど、約50,000㎡の敷地内で順次ゾーン別に大規模改修を実施</li><li>・PFI方式を導入しつつ、収蔵庫や広場については市が直接整備を行うなど官民が役割分担</li></ul>	令和11年3月頃(※2)

(2) 現在地からの移転事例

施設名	所在地	概要及び特色	完成予定(※1)
亀岡市博物館	京都府 亀岡市	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在の文化資料館を移転させ、より広い収蔵・展示面積を備えた施設を整備</li><li>・「デジタル文化資料館」としてのメタバースやデータベース機能を活用・拡充</li><li>・子供向け体験スペースを設置</li></ul>	令和12年秋以降

(3) 既存施設に新たな機能を付与し再整備した事例

施設名	所在地	概要及び特色	完成年月
熊本県博物館 ネットワーク センター	熊本県 宇城市	<ul style="list-style-type: none"><li>・もともと収蔵庫であった施設に、県内全域の博物館活動を活性化させるネットワークセンター機能を付与</li><li>・収蔵品等の展示や子供向け講座の実施に加え、博物館資料データベースや学芸員等の人材データベースを構築</li></ul>	平成27年 4月

※1 「完成予定」の時期については基礎調査終了後の状況変化を反映させている。

※2 福岡市博物館のリニューアル工事は入札業者の辞退により工期が遅れる見込み